

**大塚グループ5社 国内全23工場にCO₂フリー電力を導入完了
～40%以上の国内年間CO₂排出量削減に貢献～**

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)の直接子会社である大塚製薬、大塚製薬工場、大鵬薬品、大塚化学、大塚食品では、国内全工場においてCO₂を排出しない再生可能エネルギーに由来するCO₂フリー電力^{*1}の導入を完了しました。

大塚グループでは、環境への取り組みにおけるマテリアリティ(重要項目)を「気候変動」「資源共生」「水資源」と特定し、「気候変動」においては、「2030年にCO₂排出量30%削減^{*2}」をグローバル目標として掲げ、積極的にCO₂排出量の低減に努めています。2019年7月からはCO₂排出量が多い工場を中心に、CO₂フリー電力の導入を順次進め、このたびの大鵬薬品 犬山工場での導入により、グループ5社の全23工場におけるCO₂フリー電力の導入が完了しました。

CO₂フリー電力の導入に加え、自家消費型太陽光発電設備の導入、コージェネレーションシステム^{*3}を活用した燃料転換等によるエネルギー利用の最適化等により、CO₂排出量の削減を積極的に推進した結果、2021年度の国内におけるCO₂排出量は41%削減^{*4}される見込みです。

今後は、グローバル目標の達成に向け、海外での取り組みも積極的に推進していく予定です。大塚グループでは、これからもグループ会社間の協働による相乗効果を発揮し、脱炭素社会の実現、ひいてはサステナブルな社会の実現への貢献を目指して取り組んでまいります。



大塚製薬 徳島板野工場



大鵬薬品 北島工場

- *1 :CO₂を排出しない再生可能エネルギーに由来する環境価値を活用した、実質的にCO₂フリーとなる電力(実質CO₂フリー電力)も含む。
 *2 :当社グループ2017年比。国内および国外のCO₂排出量が対象。
 *3 :天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム。回収した廃熱は、蒸気や温水として、工場の熱源、冷暖房・給湯等に利用できる。熱と電気を無駄なく利用することで、高い総合エネルギー効率の実現を目指す。
 *4 :当社グループ2017年比。5会社を含む国内のすべての子会社が対象。

【ご参考】大塚グループの気候変動に関する主な取り組み

2019年7月	大塚製薬、大塚製薬工場、大鵬薬品、大塚化学、大塚食品の徳島県の工場・研究所、大塚製薬の袋井工場でCO ₂ フリー電力導入 【大塚化学の全3工場で導入完了】
11月	大塚食品の滋賀工場でCO ₂ フリー電力導入
2020年1月	グループ5社でグリーン電力証書を取得
2月	大塚製薬工場の富山工場でコージェネレーションシステム設備を導入
4月	大塚製薬の高崎工場・佐賀工場でCO ₂ フリー電力導入 【大塚製薬の全8工場で導入完了】
7月	大塚製薬工場の釧路工場、大塚食品の釧路工場でCO ₂ フリー電力導入
9月	大鵬薬品のつくばエリア(研究所)で実質CO ₂ フリー電力導入
9月	大塚製薬工場の釧路工場で自家消費型太陽光発電設備導入
2021年1月	大鵬薬品の埼玉サイトで実質CO ₂ フリー電力導入
3月	大塚食品の群馬工場でCO ₂ フリー電力導入 【大塚食品の全4工場で導入完了】
5月	大塚製薬工場の富山工場でCO ₂ フリー電力導入 【大塚製薬工場の全4工場で導入完了】
6月	大鵬薬品の犬山工場で実質CO ₂ フリー電力導入 【大鵬薬品の全4工場で導入完了】